

平成 25 年 2 月 26 日
商学部 4 年 浅野公嗣

岩手県二戸市調査レポート

はじめに

今回、岩手県二戸市を訪問し、自然・観光などの観点から現地調査を行いました。3.11 の東日本大震災で被害を受けた二戸市ですが、その復興、さらには全国的な知名度を高め、二戸市に、市民、観光客など、多くの人で賑わう新たなコミュニティ形成を進めていきたいと考えています。その第一段階として、食の観点から明治大学のある日本の中心地、千代田区から発信していますが、今後も二戸市の魅力をさらに力を注ぎ伝統・観光など多面から伝えていきます。

1. 現地調査概要

(1) 日時

2013 年 2 月 25 日 (月)

(2) 場所

岩手県二戸市

(3) 調査者

浅野公嗣

2. 調査報告

(1) 岩手県二戸市について

人口約 3 万人から成る二戸市は平成 18 年 1 月 1 日、二戸市と浄法寺町が合併して、新しい二戸市が誕生しました。岩手県の頂上に位置し、奥羽山脈と北上山地、2 つの山並みに守られています。

折爪馬仙峡県立自然公園をはじめ、金田一温泉など豊かな自然環境に恵まれており、市街地は南北に走る馬淵川の河岸段丘上に形成されています。



(2) 二戸の『食』

ヒメボタルが生息する折爪岳と清らかな水が湧き出る稲庭岳のふもとに広がる二戸市は長年の知恵と経験がもたらす産物に恵まれています。

①南部せんべい

小麦粉と胡麻などをこね、丸い型に入れて焼き上げます。二戸の南部せんべいは種類が豊富で、昔ながらの素朴な味、さらに新感覚の風味のある南部せんべいを揃えています。



※現在、明治大学浦安ボランティア活動拠点で二戸市の商品を数多く販売しています。

②鮎

金田一温泉の馬淵川河畔で稚鮎の中間育成が行われています。温泉を使用した温度管理により生きのよい鮎が育ちます。



※馬淵川

(3) 二戸の自然

①漆

国産漆の生産量が全国の80%を占め、ウルシオール含有量が多く、良質な漆として有名です。多くの重要文化財の修復などにも使われています。



②ヒメボタル

県立自然公園折爪岳山頂村付近は、東北最大級といわれているヒメボタルの群生地となっています。地元ガイドの案内があり、観賞することができます。

(4) 市民の声

現地調査をしている中で、市民の方（70代）とお話をしました。その方によれば東日本大震災の際は、沿岸部ではないので津波による大きな被害はなかったが揺れによる物の損壊などの被害が多々あったそうです。また、二戸市について、街を流れる川、馬淵川ではよく鮎が釣れるなど大変自然に恵まれたところだそうです。観光に関して、全国的に広められるほどの力はまだないので、何かをきっかけとして全国に二戸市をアピールできるものを創る必要があるとおっしゃっていました。

(5) 自分の視点から見た二戸市

JR 二戸駅で新幹線を降り、二戸市を一望した際の第一印象は「自然の豊かな街」です。鮎が生息する馬淵川をはじめとする豊かな自然に恵まれた街であると思います。駅前には数店舗の飲食店などがありましたが、シャッターが下りていたり、お客さんがいないような店が多々見受けられたりと少し寂しい感じがしました。市役所へ向けて街中を歩いてみましたが、商業施設はそれほど見られず、その街に住む方が生活するための最低限の施設がある程度でした。しかし、それが市民にとって住みやすいコンパクトシティなのかもしれません。そのようなコンパクトシティを囲む豊かな自然を生かして街をアピールできるのではないかと思います。

物産品を販売するお店で二戸市産の南部せんべいの種類の多さに驚きました。納豆、さつまいも、メイプル、など珍しい種類が多く、現代の若者にも受けの良い新感覚の南部せんべいを現地のみならず、都心から発信することで、二戸市の知名度も上がるのではないかと思います。

そういった自然、食の観点から二戸市の魅力を伝えることで、全国的な知名度アップにつながるのではないのでしょうか。